



ホッキョクグマがアザランを食う (出所: Heli Routti)



カモメがアザランを食う (出所: Geir W. Gabrielsen)

2016年10月25日

### 新しい環境汚染物質、特に北極に重点を置くスクリーニングのセミナー

10月11・12日、新人研究員と上級研究員は新しい環境汚染物質の最近の情報について知らせ、話し合うために集まった。

セミナー参加者は主に新しい環境汚染物質の専門家で、この場合、新しい環境汚染物質というのは必ずしも、最近出たというのではなく、環境汚染物質として広く認識されていないということである。

参加者はフェロー諸島やグリーンランドを含むすべての北欧の国々の、国家研究や政府機関、規制に関して重要な役割を担っている---環境汚染物質になってしまう化合物の使い方について、完全な禁止をしている、または、制限をしている---特定の国際研究機関や国際機関などから選ばれた科学者たちと代表者たちである。

そのセミナーが実施された背景には、私たちが生きる自然に現れるかもしれない汚染物質の出現を調査することが北欧における一般的な業務だということがある。

一億の化合物が登録されているが、この数中一握りしかPOPS条約によって規制されておらず、日々数万の新しいものが登録されるので、新たに環境悪化を及ぼす化合物が出現する可能性に気を付けねばならない。

こういった化合物を発見するための最新の方法はノンターゲットスクリーニングという解析である。この方法には、過去の環境汚染を含むだけでなく、すでに発見された環境汚染を含むことで、分析された化学物質の範囲を広げる意味がある。これは、用語「ノンターゲット」が意味するところであり、言い換えると、事前に定義されていない分析物が分析されるということである。

セミナーで、北欧と特に北極の周辺のスバル諸島などに出る汚染物質についての研究の結果が発表された。

臭素系難燃剤についての研究と北極の魚と海鳥とアザラシのような海洋哺乳類とホッキョクグマに出る有機リンの難燃剤についての研究が発表された。この環境汚染物質は大気中と水中の長距離移動のために北極に届いた。また、部分的に現地の人為的な活動のためだということもある。

スウェーデンのウメオ大学とノルウェー水研究所（NIVA）とノルウェー気象研究所（NILU）からの代表であるノルウェーとスウェーデンの研究者は現在北欧理事会に支援される共同北欧スクリーニンググループ（Joint Nordic Screening Group）のために調査する。

この調査はノンターゲットスクリーニングとターゲットスクリーニングの組み合わせでフィンランドとスウェーデンとデンマークとノルウェーとフェロー諸島とアイスランドとグリーンランドの都市部からのサンプルで行っている。

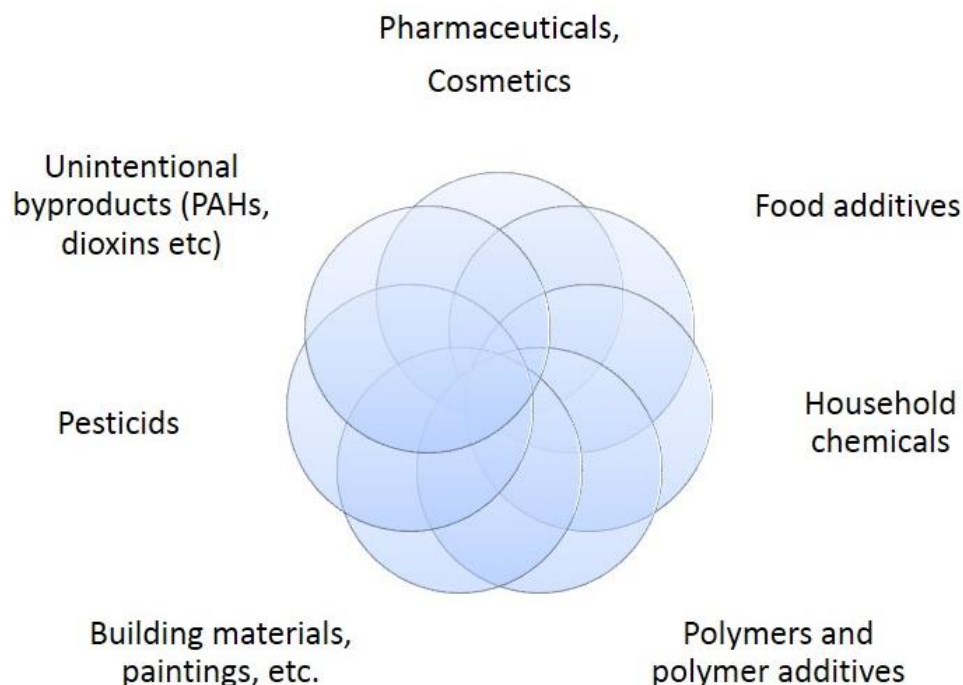
この研究の分析は特にデータ解析について大変労働集約型で、下水処理場からのわずかな魚と堆積物と流出物を網羅する。

お問い合わせ

Joint Nordic Screening Group ホームページ：<http://nordicscreening.org/> 担当：Maria Dam e-mail：[mariad@us.fo](mailto:mariad@us.fo)

翻訳者：Harriet Dam

田村修司先生と大瀬千沙さんは手伝ってください、ありがとうございます。



新しい汚染物質の源の例 (出所：Martin Schlabach)